

課題名：当院における閉塞性大腸炎の治療と転帰の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、閉塞性大腸炎についての治療内容と転帰を調べています。本研究で閉塞性大腸炎の今後によりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年1月から、2024年12月までの間に、閉塞性大腸炎であると診断された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

DPCコード,性別,入院時年齢,身長,体重,退院時転帰区分,手術の有無,情報（名称）,手術・処置等1の情報,手術・処置等2の情報,副傷病名,入院中の主な診療,治験実施の有無,入院年月日,退院年月日,転科,入院経路,他院よりの紹介,自院の外来からの入院,予定入院緊急入院区分,予定救急医療入院,救急車による搬送,退院先,退院時転帰,入院24時間以内死亡,前回退院年月日,同一傷病前回自院入院年月日,調査対象となる一般病棟への入院,調査対象となる精神病棟への入院,その他の病棟への入院,主傷病名,主傷病コード,入院の契機となった傷病名,入院契機傷病コード,医療資源を最も投入した傷病名,医療資源最投入傷病名1コード,医療資源を2番目に投入した傷病名,医療資源最投入傷病名2コード,入院時併存症名1,入院時併存症1コード,入院時併存症名2,入院時併存症2コード,入院時併存症名3,入院時併存症3コード,入院時併存症名4,入院時併存症4コード,入院後発症疾患名1,入院後発症疾患1コード,入院後発症疾患名2,入院後発症疾患2コード,入院後発症疾患名3,入院後発症疾患3コード,入院後発症疾患名4,入院後発症疾患4コード,手術名1,手術1コード,手術1点数表コード,手術1手術日,手術名2,手術2コード,手術2点数表コード,手術2手術日,手術名3,手術3コード,手術3点数表コード,手術3手術日,手術名4,手術4コード,手術4点数表コード,手術4手術日,手術名5,手術5コード,手術5点数表コード,手術5手術日,身長,体重,入院時ADLスコア,退院時ADLスコア,Child分類,SOFAスコア,K550,K558,K559,K560,K561,K562,K564,K565,K566,K567,K570,K572,K574,K578,K590,K630,K631,K650,K913,心筋梗塞,うっ血性心不全,末梢血管疾患,脳血管疾患,認知症,慢性肺疾患,リウマチ性疾患,消化性潰瘍,軽度肝疾患,慢性合併症を伴わない糖尿病,慢性合併症を伴う糖尿病,片麻痺または対麻痺,腎疾患,悪性腫瘍,中等度または重度の肝疾患,転移性固形腫瘍,AIDS・HIV,トリアージ開始日,トリアージ終了日,ノルアドレナリン注1mgの処方有無,ピトレシン注射液処方の有無

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025年11月18日以降

◆研究方法◆

本研究は当院DPCデータ、電子カルテにおけるデータを利用します。

---

- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

集中治療科 研究責任者 藤永 潤

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
(他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。)
- ・研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明